

① 外国人雇用対策について

昨年改正入管難民法により、外国人雇用の拡大が報道されている。我が国の少子高齢化による人手不足は深刻であり、日本経済にも暗い影を落としている。また日本は閉鎖的な海と江戸時代からの鎖国政策により、他民族との交流が大変不得意な面も否めない。しかしながら今回の改正により、より多くの外国人パワーが発生し共存共栄の道も模索しなければならない。しかしながら新聞紙上においても外国人処遇が適正であるか問題視されている。そこで以下質問する。

- (1) 外国人雇用についての基本的な考えを尋ねる。
- (2) わが町における外国人の状況を尋ねる〈在住目的 雇用状況〉
- (3) 外国人雇用対策及び周知についてどのように検討しているのか。
- (4) 外国人の職員採用は考えているのか。

② 水道事業コンセッションについて

昨年12月6日、国会において樹立した水道事業コンセッション法案は報道各機関によって負のイメージが横行している。しかしながら我が町においては水道事業の早期設置により施設の老朽化は否めない事実である。今後どのように進めていくのか。以下のとおり質問する。

- (1) わが町の基本的な考えを尋ねる。
- (2) 上下水道事業にも債務負担行為による民間委託及び指定管理制度がある。コンセッションと類似すると思うが、どのように考えているのか。
- (3) 水道事業の今後の施設改修計画はどのように進んでいくのか。
- (4) 下水道事業についても同質問をする。